

「活力朝礼」で強固なチームワークを！

朝礼委員会主催「朝礼研修」開催。

今年4月に引き続き、2回目（暦年）の「朝礼研修会」が11月16日、山形グランドホテルを会場に午後3時から2時間半、開催されました。

講師に川又北海道・東北副方面長をお迎えし、24名が受講、「活力朝礼」を学びました。

社員一人ひとりの個性を伸ばし、心の絆で結ばれた組織づくりの重要なファクターである朝礼、当山形市蔵王倫理法人会でもこの重要性に鑑み、冒頭に開催した目的を鈴木朝礼委員長が挨拶で述べられました。川又北海道・東北副方面長から、「挨拶」・「返事」・「姿勢」など職場生活に必須の基本動作を「型」として朝礼に取り入れ、特に大切な、一日一回、これらの「型」を大きな声でタイミングを合わせ行うことで、接客や電話対応などのスキルアップにつながるだけでなく業務に関わる人間交流がスムーズ且つ、円満になり、「気」が合えば、実際の連絡・報告・相談が迅速、且つ的確に行われ、やがては企業の組織体質がパワーアップすることを話されました。

千葉県倫理法人会会友での「活力朝礼」実践のVTRを見たあと、早速実習を中心に研修が進みました。特に講師が述べられたこと、

1. 姿勢、2. 声、3. リズムのキーポイント3点。

「気をつけ」の姿勢、「顔はあごを引く」、°肩はリラックス、「腰は自然で、背筋を伸ばす」、「手は指を隙間無くきちんと伸ばし、ズボンの縫いに」、「足は揃えてかかとをつける」。



に腰を立
目の位置

「挨拶」の3要素、1. 先手で、2. 明るく、3. 美しく。



1 番目のこつ、気持ち、「私の方をみてくださいっ！」
2 番目のこつ 実習後半、机と椅子は部屋外に出し
4 グループ毎四方の壁面に別れ整列、実習。
これを行うことで、正しい姿勢が取られる（円陣は不可）。



あっと言う間の2時間半でした……。

朝礼の命は、テンポとタイミング！

1. 進行のリードが、朝礼の活性化の鍵。
2. 大きな声を出すことが、自らの潜在能力を引き出す。
3. 早すぎても、遅すぎても間が抜ける。最高のタイミングをつかもう！
4. 動作は心の表れ、機敏に、爽やかに！
5. 一人ひとりの澄んだ気持ちが、一日のスタートをよりよいものにしていく。

■ 活力朝礼は社員一人ひとりの「心のみがく実践の場」！ ■